



## 「おはようございます」



|       |   |         |
|-------|---|---------|
| 国     | 籍 | ベトナム    |
| 職     | 種 | 電子機器組立て |
| 実習実施者 |   | テクノセンター |
|       |   | 株式会社    |
| 監理団体  |   | モノづくり事業 |
|       |   | 協同組合    |

ファム トゥー ハン  
PHAM THU HANG

私は実習生としてベトナムから日本に来て一年が経ちました。日本の素晴らしい景色と盛んな街並みに魅了されました。日本に来て一番印象に残っていることは挨拶の文化です。

子ども頃から両親や先生に挨拶を教わりましたが、日本に来てからも挨拶は常識、基本的なことだと教わりました。日本人の挨拶の文化がきびしいと思っている人もいますが、私には日本での生活の特徴だと思います。おじぎをして挨拶することは相手に対して関心や感謝を表します。また、新しい関係が始まるきっかけにもなります。ある日、仕事の休憩中に話したことがない日本人の方のそばに座って「お疲れ様です。」とあいさつをしました。すぐにその人は「お疲れ様です。ハンさんの工程は何台やっていたの。」と話しかけてくれました。それから私たちはよく仕事の話や生活などについて話すようになりました。このようにあいさつを通して相手のことをよく知ることが出来る上に、日本語での会話も少しずつ上達してきました。

あいさつをされた人はどう感じるか考えたことはありますか。笑顔ではっきり挨拶したら相手はとてもうれしいのではないのでしょうか。私

が働いている会社にはブラジル、ベトナムといった他の国から来ている実習生がたくさんいます。普段から朝は「おはようございます」と挨拶をしています。4月からは一週間おきにそれぞれの国の挨拶をみんなでするような運動が始まりました。初めはベトナム語からでした。自分の母国語でやさしく挨拶をしてもらうたびに幸せで、元気が出ます。そう感じている人は私だけではないと思います。

仕事や勉強のために海外に住むには言語が一番の障害になります。けれども簡単な挨拶さえ出切れれば良い経験が出来るはずですよ。最近の若い人は挨拶をしないという問題が起きているそうです。「挨拶なんか知らない。」「挨拶がいやだ。」と言っていた人もいます。そのような考えはよくないことだと思います。人間同士ですから挨拶はするべきだと思います。